

THE QUILTER Pro Block 200

取扱説明書 Ver1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL: 0476(89)1111 FAX: 0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

目次

安全上の注意	3
EMC/EMI 準拠	3
はじめに	4
製品仕様	4
開梱	5
各部の名称	6
フロントパネル	6
リアパネル	8
電源コネクタ	8
スピーカー接続端子	8
ダイレクトアウト端子	8
オプション	9
設置	9
メンテナンス	10

安全上の注意



このラベルがある部分には手を触れないでください。感電の恐れがあります。



このラベルがある部分の操作、メンテナンスを行う場合は関連するマニュアルをお読みください。

1. 感電防止のため、カバーを開けないでください。
2. 本製品に液体がかからないよう、また雨中や湿度の高い場所で使用しないでください。
3. 通気口の前に設置しないでください。
4. ヒーター、ストーブなど、高温になる物の近くに設置しないでください。
5. アースピンをカットするなど、電源プラグを改造して接続しないでください。
6. 電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりするところのない場所に設置してください。
7. 付属品やアクセサリはメーカーから提供される物をお使いください。
8. 落雷の危険性がある場合や、長期間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
9. 本製品を廃棄する場合は、その市町村のルールに従ってください。
10. 通気性の良い場所に設置してください。
11. 本体を拭くときは乾いた布を使用してください。

EMC/EMI 準拠

注意：この製品は FCC 規則第 15 部に準拠しており、Class B digital device に認定されています。

本製品を使用すると高周波を発信する場合があります。設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別系統のコンセントに機器を接続する
- 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する

はじめに

この度は、QUILTER Pro Block 200 をご購入いただき、誠にありがとうございます。Pro Block 200 は、ソリッドステート回路に最新のテクノロジーを採用し、チューブアンプが持つ温かみのあるダイナミックなサウンドを忠実に再現した小型アンプヘッドです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

製品仕様

出力	0 - 200W 4 - 8Ω
電源	AC100V 50 - 60Hz
入力	モノラルフォン端子
ダイレクトアウト 出力負荷インピーダンス	XLR 端子、300mv フルスケール、バランス、 10kΩ 以上。グランドリフト付き
スピーカー1 出力	8Ω、200W 定格
スピーカー2 出力	4Ω、200W 定格
寸法	183mm 幅×213mm 奥行き×64mm 高さ
重量	1.8kg

開梱

製品パッケージに次のアイテムが含まれていることをご確認ください。

1. QUILTER Pro Block 201 Amplifier 本体
2. 電源ケーブル
3. 取扱説明書（本書）

輸送時の破損がないことを確認してください。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元に連絡ください。


製品の外箱と梱包材は保管しておいてください。輸送時に破損が生じた場合の証明として必要となることがあります。


各部の名称




フロントパネル

1. **INPUT** : ハイ・インピーダンス入力端子です。ギターを接続します。
2. **FX SEND** : 外部エフェクトに対して 1V ピークの信号を送ります。コーラス、ディレイ、リバーブなどのペダルをここに繋いで最適なサウンドを作ることができます。
3. **RETURN** : **FX SEND** から外部エフェクトを経由した信号を接続します。
4. **GAIN** : オーバードライブ/サスティーンの調整を行います。
5. **LIMITER** : 出力レベルをモニターし、不用意な歪みがかかりそうになるとゲインを下げ、コントロールする働きをします。また、ローレベル・サスティーンを長く維持する役割も果たします。
6. **TRI-Q** : 3 種類の **EQ** パターンを選択できます。**EQ** パターンはパネルにプリントされています。これらを選択することにより、低域、中域、高域をブースト、またはカットすることができます。また、オーバードライブのかかり方も変わります。


 中域をカットし、低域、高域を際立たせます。クリアな明るいサウンドを作りだし、歯切れの良いリズムとクリーンなサウンドを作ることができます。


 中域をフラットに保ちます。中域のしっかりとした、豊かなトーンを作ります。オーバードライブをかけやすくなります。


 中域と高域をブーストします。クラシックロックのリードギターサウンドを作ります。低域を抑えて低音を明瞭に保ちます。オーバードライブをかけても音の輪郭がぼやけにくくなります。

この3つの EQ サウンドはコントロールノブをゆっくり回してスムーズにブレンドすることができます。さらに詳細に調整して好みのスイートスポットを見つけることができます。

7. **REVERB** : 明るくクリーンで大きな空間を感じるリバーブを作ります
8. **HI-CUT** : パネルにプリントしてあるパターンのように、アンプの自然なフルレンジレスポンス、高域をマイルドにカット、高域の周波数ピークを鋭くカットする3種類のモードがあります。

 クリアーなサウンドとオーバードライブを作ります。落ち着いたトーンを出力する平均的なギタースピーカーとの相性が良いモードです。

 ヘッドフォン、フルレンジスピーカー、ダイレクトレコーディング用モニターなどのフルレンジサウンドは高域が強調されすぎる傾向があります。このモードで **HI-CUT** を使用すると、高域のエッジを取ることができます。通常のスピーカーを使用するときでも、多くのギタリストは高域の広い範囲に **HI-CUT** をかけたサウンドを好みます。

 高域のみ **HI-CUT** をかけると、トーンに丸みを与え、ボーカルの音質に似たマイルドなピークを加えます。このトーンはブルースや、リードギターにぴったりです。高周波側にスワイプすると周波数ピークが連続的にダウンしていくのが分かります。**HI-CUT** レンジをフルにすると、まるでフルートのような音になります。

9. **MASTER** : オーバーロードやクリッピングポイントを 0~200W の範囲で設定します。
10. 電源ランプ : アンプの電源がオンのとき点灯します。
11. 電源スイッチ : アンプの電源を入れます。

リアパネル

電源コネクター



付属の電源ケーブルを接続します。感電を防止するため、アース線は必ずアース端子に接続してください。

スピーカー接続端子



8Ω または 16Ω スピーカーを下段 8-OHMS 端子に接続します。4Ω スピーカーは上段 4-OHMS 端子に接続してください。

8Ω スピーカーを 2 台、または異なるインピーダンスのスピーカーを 1 台ずつ接続する場合、2 つの端子にそれぞれスピーカーを接続してください。パワーは 2 台のスピーカーに分割されます。本アンプでは、インピーダンスミスマッチにより音質が変わることはありません。

ダイレクトアウト端子

マイクレベル絶縁出力端子です。アンプを通した音を録音する場合、通常アンプの前にマイクを置いて録音しますが、この端子から直接ミキサーに接続して録音することもできます。

オプション

Quilter Labs 専用キャリングケース（別売）を使用すると、Quilter 製品を収納して安全に持ち運ぶことができます。



設置

Pro Block 200 Head は様々な方法で設置することが可能です。
スピーカーキャビネットの上に置いたり、連結してラックマウントすることもできます。



メンテナンス

症状	原因と対策
電源が入らない	電源ケーブルがしっかりとコンセントに接続されているか チェックする
アンプの電源が落ちて直ぐに立ち上がる。	アンプが過熱しサーマルプロテクションが働いた可能性がある MASTER ボリュームを 30%まで下げる 直射日光を避けて設置する 壁や他の機材と十分な距離を置いて設置する
音が出ない	MASTER ボリュームと GAIN がゼロになっていない ことを確認する ギターケーブルがアンプとギター両端にしっかりと接続 されているか確認する ギターケーブルを交換してみる スピーカーケーブルがスピーカー端子にしっかりと接続 されているか確認する
音が低い、または変動する	ペダルとアンプと切り分けるため、FX Loop に接続した ペダルを取り外し、ギターを直接アンプに接続する ペダルの接続、電源、バッテリーをチェックする
バックグラウンド・ハムノイズが出る	ギターケーブルがしっかりと接続されているかチェックする ギターケーブルを交換する。シールドケーブルを使用する アンプ、ペダルは同じコンセントに接続する ギターのボリュームをゼロにするとハムノイズが消える 場合、シングルコイルピックアップは特に調光式ライト、 ネオンライトなどのハムノイズを拾いやすい 「フェーズスイッチ」ピックアップ・セレクターがある場合、 それを試してみる ギター・シールドをチェックする 弱いブーンという音がでる場合、アースが接続されて いない可能性がある。必ずアースを接続する
過度のノイズ	GAIN の上げ過ぎ。 ケーブル、ギター、ペダルなどの接続をチェックする 繰り返し発生するノイズはスマートフォンから出ている 可能性がある。スマートフォンをアンプやギターから

	遠ざける
アンプの音がどの音量でも歪む。	ヘッドホンで聴いたときに問題なければスピーカーの可能性もある MASTER ボリュームを下げる エフェクトループに接続されている機材を外してギターを直接アンプに接続する
クリーントーンが欲しいのに過剰なオーバードライブが出る	GAIN を下げて MASTER を上げる JAZZ や SURF ボイスを試してみる

次の事象が発生した場合はコンセントから電源ケーブルを抜いて直ちに販売代理店にご相談ください。

- アンプ、または電源ケーブルから煙りが出た
- アンプを誤って落としてしまった
- アンプに液体をこぼしてしまった
- アンプ内部の部品が外れたような音をする

PROBLOCK

